

令和七年八月 晉賢光明

華嚴宗 晉賢光明寺

今月の法話

一、「日本の守護 観世音菩薩」 二、「仏教と土木工事」

一、日本の守護、観世音菩薩

当山に不空羂索観音様が、降臨され早くも四十年が経ちました。当時に降りた御霊筆のなかに、「私は此れからの凄まじい混沌のこの世から衆生を守るために過去に創られたものなりて、いまここにいます。」と言われました。まさしく、一三〇〇年の時を超えて私達人類と地球を救う為に降りられた観音様なのです。降臨後、私は観音菩薩様の指示通りに行動いたしました。何もアポイントもとらずに訪れた東大寺で縁が繋がり、筒井寛秀大僧正の弟子となって得度。その後、四度加行を行じて、東大寺の僧となり、今日に至ります。

さて、三月堂の不空羂索観音様が造像された天平時代は、西暦七二九年から七四九年の二十一年間を指します。中国唐の文化をふんだんに取り入れて、独自の日本文化を創ったのです。美術、建築を始め、仏教文化が栄え日本文化が大きく変容したのです。それは今もなお国宝として大切に伝えられています。それらはまさに天皇と国、民の財宝であり数々の戦乱や災害を乗り越え、私たちに一三〇〇年間の時空を越えた天平人からの言葉のように思います。聖武天皇は、国家を仏教により統一するため、全国に国分寺と国分尼寺を建立しました。国分寺の正式名称は金光明四天王護国之寺、国分尼寺は法華滅罪之寺であり、『金光明最勝王經』による国家の安定、『妙法蓮華經』による滅罪生善を祈られたのです。そして、東大寺の前身である「金鐘寺」を総国分寺と位置づけたとされ、名前も金光明寺となりました。金鐘寺の全容は明らかではありませんが、三月堂（当時は羂索堂）を中心としたお寺であったと推察されます。なぜ、三月堂が総国分寺なのだろうかといえれば、不空羂索観音様のご利益に、全てを統一して心が一つになり、災害や疫病をよけて利益をもたらすといったものがあるためではないでしょうか。さらに現世の廿一の利益と神秘なる大宇宙のパワーを秘めています。

このような寺院の建立は天平時代がまさに疫病、災害、政変の時代であったためです。天然痘の大流行、マグニチュード7、9の巨大地震は、余震を含めて二十日に渡り、まるで南海トラフ地震です。この震源地は岐阜県美濃地方であったそうです。そして米不足の飢饉、政治クーデターなど、天災・人災に苦しめられていたのです。

三月堂は、元々若年で亡くなられた基親王の供養として造られましたが、観音力の凄まじき利益と力は国家を統一と守護神として祈られたのです。私達にとって不空羂索観音様は唯一無二です。どんな祈り方でもまずは信じて祈る心と姿が、仏と繋がり奇跡的に守護されます。私は幾度となく命を救われました。それがなければ皆さんこうしてお話することも出来なかったことでしょう。また、信仰する皆様の中には幾度となく奇跡的なご利益を受けた方も多く、今もなお私達を導いてくださっています。「縁は徳なり」「人生はおごり心との戦なり」と常に言われ続けて来ましたが、それにも関わらず、失敗ばかりでも観音様はけっして私達を見放しません。それは観音が施無畏者だからなのです。人々を救済することが使命として生まれた私達の守護神だからです。困ったときだけの頼みでなく、常日頃から祈り感謝することがいざというときに守られます。

神も仏もあるものか！なんて言われる人は本当の苦しみを知らないのかもしれない。九月には観音大祭がありますが、私達は観音信者なので、この日だけはできるだけご参加して縁を強めてくださいませ。お待ちしております。未来は私達が考え造り上げてゆくものです。平和的で差別なく幸せな世界になることを皆で祈りたいと思います。

○無財の七施 和顔施の秘密

和顔施とは、顔で表現する布施行です。目、口、耳、心が一体となりその姿は周囲の人々に多大の福をもたらし幸せの種をまき功德増やし魂を磨く法です。

目(慈眼施)は心の窓、優しい瞳と和やかな慈愛を表す。口(言辞施)には善き言霊を発して優しい思いやりと、励まし、思いやり勇氣つける心の言葉

耳は静寂のなかに善き音と音楽が安楽を与える。顔が美形だからでなく善き心が魂を磨き安穏と自信に満たされた心となり菩薩のような姿になります。目尻のシワや法令線、二重顎は、菩薩顔に欠かせないのです。後は広角をあげて、心から微笑むだけです。鏡をみて練習くださいませ。

二、仏教と土木工事 公共事業と利他行

「コンクリートから人へ」、民主党が政権交代の折に掲げたスローガンですが、今では空虚に響いています。コンクリートも人が作るのですから。

土木工事は人間の歴史とともにあります。人間が持つ他の動物との最大の違いこそが土木工事なのです。動物たちは自分たちが生きやすい土地を探し定住するのに対して、人間は環境を自分たちで住みやすいように変えることができるのです。ゆえに土木工事は人間の力を見せる最大の行為であり、故にかつての豪族たちは大きな古墳を造りその権威を知らしめたのでしよう。

この土木技術の多くは中国からもたらされ、聖徳太子による遣隋使派遣以降からより加速していきます。当時の最先端の教えであった仏教もこうして次々と日本に導入されていきました。

大乗仏教においては利他行による救済を菩薩の道として説きます。ただ、本堂で祈るばかりが仏道の実践ではないのです。こうして、僧侶は各地で水害に苦しむ人々のために土木工事に乗り出します。当時の僧侶は知的エリートであり「五明」を修める必要があります。「内明(仏教)」「医方明(医学)」「声明(文法学・説話学)」「因明(論理学・修辞学)」「工巧明(工作・暦学・数学)」、仏教のみならず医療や建築にも長けていたのです。古くは元興寺の道登による京都宇治川の宇治橋、道昭による大阪淀川の山崎橋の建造があります。しかし、土木工事において最も有名なのは行基でしよう。行基は三〇年の間に記録になるだけで橋を六つ、道一つ、池を十五、溝(用水路)を六つ、船着き場を二つ、樋(水路)を三つ、堀を四つ、宿泊所を九つ、寺院を四九寺も建立したとされます。その物凄い実績には政府も認めるところで、行基は大仏造立の勸進職として重用されたのです。東大寺の初代別当である良弁もその知見を持って大仏造立の土地を選び、必要な材木の手配などに勤しみました。こうして国家的大土木事業である大仏造立は成し遂げられたのです。

時代は少し下り、空海は唐で密教を学んだ後は都ではなく生まれ故郷である讃岐国にて満濃池の修理という難事業を成し遂げます。雨が少なく、水不足にあえぐ讃岐の民にとってどれほどの救いになったことでしょう。その後も空海は各地の池の改修工事や大輪田港の整備などの活躍を見せます。空海は密教を伝えたのみならず、各地での菩薩行の実践をもって人々に敬われたのです。

現代ではすでに土木工事は僧侶の手から離れました。しかし、忘れてはいけないことは衆生を救いたいという利他の精神こそがその根本にあるということです。皆様が従事している様々な仕事でも、この心を持って行えばたちどころに利他の行となります。人生はすべて修行であり、善行を積みむチャンスは至るところにあるのです。その心を育んで参りましょう。合掌

南無日月光妙法蓮華經

※秋の彼岸会は九月二十日く九月二十六日迄です。ご先祖様の供養と共にご自身の魂も磨いてください。個別の追善供養のお申込みを受け付けております。ご希望の日時がございましたら早めにお申込みください。

※本年の十五夜は十月六日(月) 十三夜は十一月二日(日)となります。観月会のお申し込みは九月から行います。
(十五夜は護摩法、十三夜は瞑想と坐禅を行います)

*八月のラッキーカーラー、暗剣殺、五黄殺(八月八日く九月七日) 一年通してのラッキーカーラーは緑色です。
*暗剣殺、五黄殺とは凶方位の事で移転増築や旅行など控えた方が良い方位となります。

八月のラッキーカーラー 青 白 ピンク 暗剣殺 なし 五黄殺 なし

【お知らせ】①九月の勉強会の日程 九月二日(火) 六日(土) 七日(火) 正午より。鎌倉本堂にて合同会となります。

② 不空羅索観音大祭 九月二十八日 午前十時・午後二時より ※本年は横浜説教所のご本尊様の開眼四〇周年となりますので、懸仏様もご供養いたします。※東大寺三月堂(法華堂)では昔、法華堂衆による「千日不斷花」と呼ばれる行法を行っていました。この行法にちなみ、観音大祭においてご本尊様に花供の御寄進をつのり、皆様の御心で荘厳したいと思っております。(一口五百円から)

③ 仏像彫刻教室 八月十日(日) 正午より 絵画教室 九月七日(日) 勉強会後 本堂にて ※見学・体験もできますのでご興味のある方はぜひお越しくださいませ。

④ 施行の予定 八月十日・九月十四日 塩川池 午前七時集合 八月二十四日 夕日の池 午前六時集合
九月二十九日(月) 牧馬大滝 ※参加希望の方はご連絡くださいませ